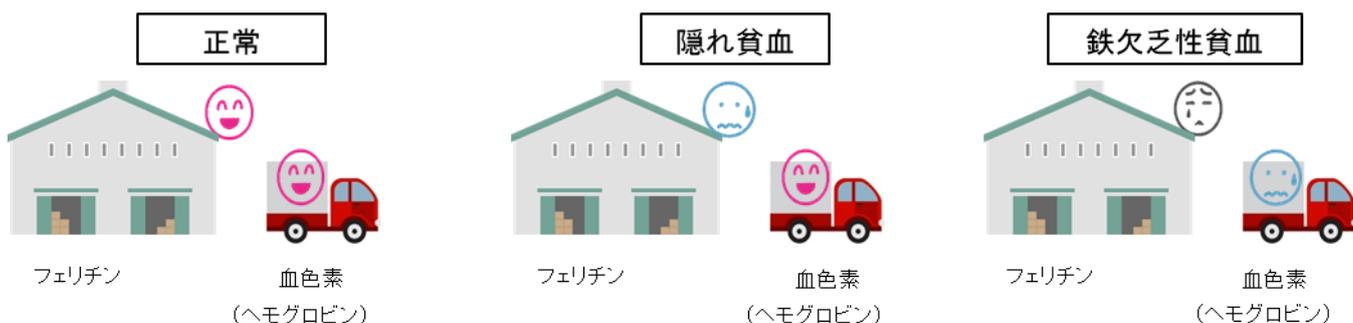


フェリチン検査が予約できます！



1. 何のために検査をするの？

フェリチンを測定することで、体に鉄がどのくらい予備があるのか【在庫】がわかります。現在、検査をしている血色素(ヘモグロビン)は、体にどのくらい鉄がまわっているか【出荷】を測定しています。そのため、従来の検査に加え、フェリチン値も併せて測定することで鉄欠乏性貧血を早期に発見すること(=隠れ貧血の発見)が可能になります。



*鉄不足になると、フェリチン【在庫】から減っていき、血色素(ヘモグロビン)【出荷】は最後まで減らない

また、フェリチンは、再生不良性貧血や白血病などの血液の病気や、悪性腫瘍、肝障害、心筋梗塞、感染症などで異常値となるため、鉄欠乏性貧血以外の病気の選別や、腫瘍マーカーとしての役割もあります。

2. 貧血は放置したらいけないの？

貧血になると、動悸、息切れ、倦怠感(だるさ)などの症状が出ますが、体が順応して、気がつかないことも多くあります。

しかし、自覚症状はなくても、心臓に負担がかかったり、代謝が落ちたりし、様々な病気の原因になります。最近では、認知症にかかる危険性も高くなることもわかっています。

3. 鉄欠乏性貧血だとわかったら

食生活の問題だけでなく、他の疾患が隠れている可能性があります。

内科で精密検査を受けましょう。

女性の場合、子宮筋腫や子宮内膜症などの婦人科疾患が原因のこともあるので、不正出血や月経過多などの症状がある場合は婦人科受診も考慮してください。

4. 料金

1,620 円(税込)

※オプション検査となります。

単独でのお申し込みはできませんのでご了承ください。

JA 尾道総合病院
健康管理センター

